

533 三試験及第者懇親会

〔「法学新報」第29巻1(326)号 大正8年1月1日〕

○三試験及第者懇親会 昨年挙行せられたる高等試験行政科、判検事並に弁護士試験合格者たる中央大学出身者は旧臘十八日午後五時より上野精養軒に母校関係者を招待し懇親会を開催したり当日の出席者は来賓岡野学長、馬場理事、大場、前田、草野の諸講師及び教務大松氏の外合格者四十五名の中伊藤祐一、富田耕、李升雨、興石彌久雄、神浦静夫、金澤善一、高崎長一郎、坪山善四郎、長尾肇次郎、中村武、野口和一郎、山本仲次郎、山根瀧藏、矢崎勘七、松井留三郎、小西平吉、新井近造、

齋藤孝一郎、佐藤博、岸野順二、水谷團治、白旗松之助、車谷榮、持田諛の諸氏にして一同食卓を囲み宴酣なる時白旗氏起て開会の挨拶を為し岡野学長は祝辞を述べたる後合格者諸氏の為めに溢るるはかりの温情を以て将来の覚悟を訓辞せらる夫れより馬場理事の往時に於ける裁判奇談あり大場博士は現社会の実例を引きて戒飾せらるる所あり其間宴は進み時移り師友胸襟を開きて快談し靄靄たる和氣堂に漲る宴終るや別室にて茶を喫し一同記念の撮影を為し散会せるは午後十時過なりき (MS生報)